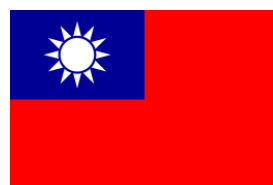




平成28年度 地域別海外誘客プロモーション計画



台 湾



目次

- 台湾基礎データ(P2)
- 訪日台湾人観光客の推移(P3)
- 訪沖台湾人観光客の推移(P4)
- 訪沖外国人観光客について-台湾市場(P5-10)
- 月別入域観光客数の推移(P11)
- 台湾人観光客の旅行シーズン(P12)
- 空路定期就航状況(P13)
- 訪沖台湾人観光客の推移(空路海路別)(P14)
- 平成28年度台湾人観光客 来沖観光客誘致目標数(P15)
- 平成28年度台湾市場プロモーションの方向性(P16)
- 平成28年度台湾市場プロモーション計画(P17)

台湾の基礎データ



人	口	23,434,000人
面	積	36,000 km ² (日本の九州と同じくらいの面積)
首	都	台北市
通	貨	台湾元 (NTD)
言	語	中国語
1人当たりのG D P		22,598 USドル (2014年)
年間出国者数		11,844,635人 (2014年)

※データ出展：日本政府観光局（JNTO）WEBサイトより

北台湾 (台北・新北・基隆・宜蘭・桃園・新竹)	約1,023万人
中台湾 (台中・彰化・南投・苗栗・雲林)	約581万人
南台湾 (台南・嘉義・高雄・屏東・澎湖)	約640万人
東台湾 (花蓮・台東)	約55万人

訪日台湾人観光客の推移

暦年 データ	2010	2011	2012	2013	2014	2015
人数(人)	1,268,278	993,974	1,466,700	2,210,821	2,829,800	3,677,075
構成比 (%)	14.7	16	17.5	21.3	21.1	29.9
伸率(%)	23.8	-21.6	47.6	50.8	28	47.2

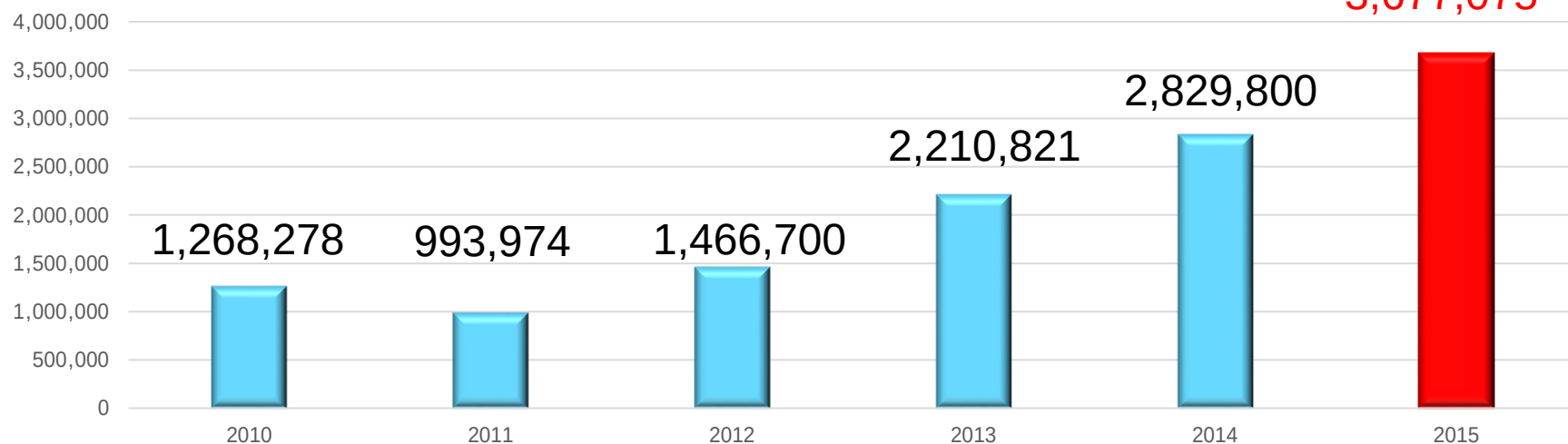
2015年(暦年)訪日外国人客数: **19,737,409人**

※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合



訪日台湾人観光客の推移

※単位：人



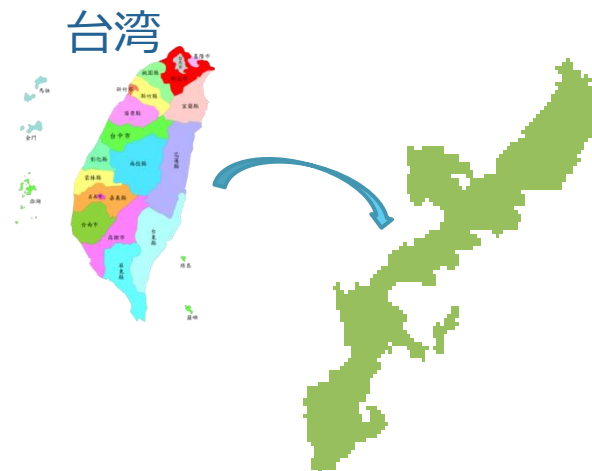
訪沖台湾人観光客の推移

年度 データ	2010	2011	2012	2013	2014	2015
人数(人)	116,900	115,600	149,400	254,100	362,200	505,400
構成比 (%)	41.3	40.4	39	40.5	36.7	30.3
伸率(%)	18.3	-5.2	29.2	70.1	42.5	39.5
訪沖/訪日 (%)	9.2	11.6	10.1	11.5	12.8	13.7

※2015年度 訪沖外国人客数：1,670,300人

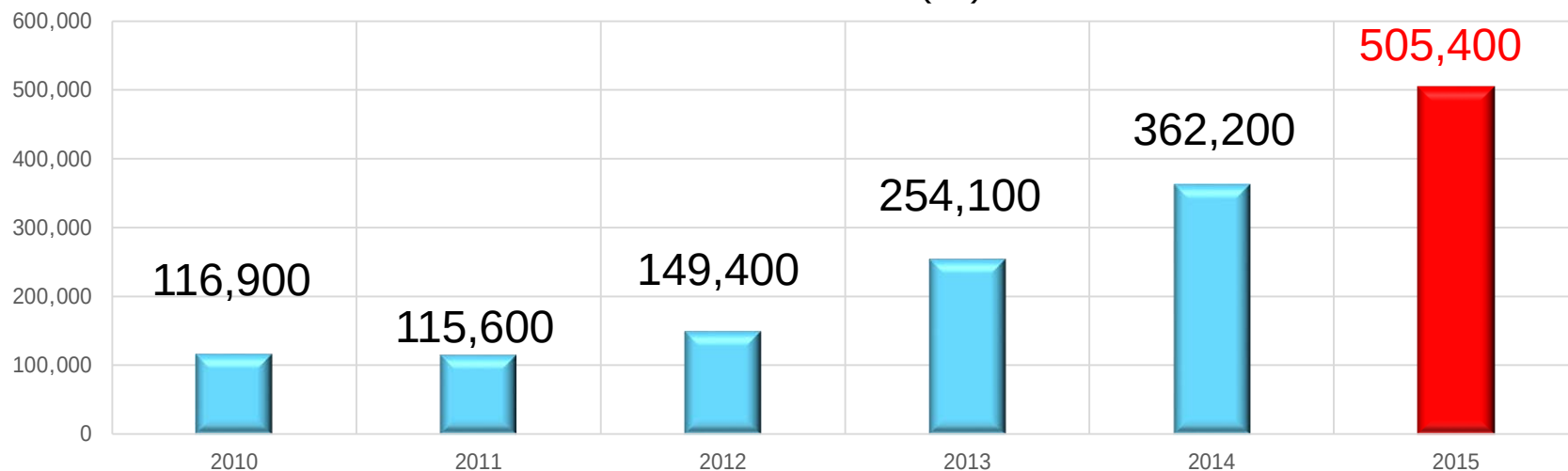
※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合

※訪沖(年度)/訪日(暦年)



※単位：人

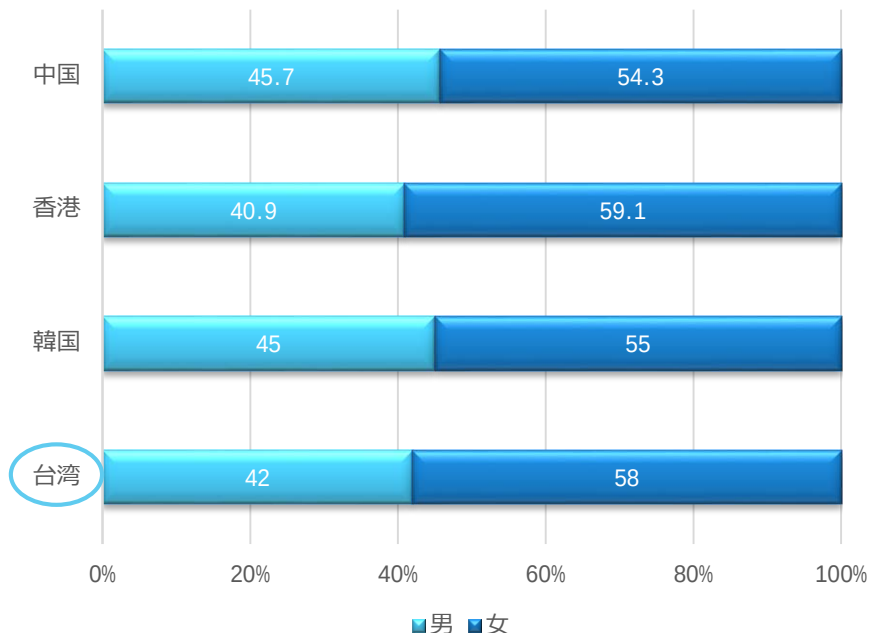
訪沖台湾人観光客の推移(人)



訪沖外国人観光客について(台湾市場)

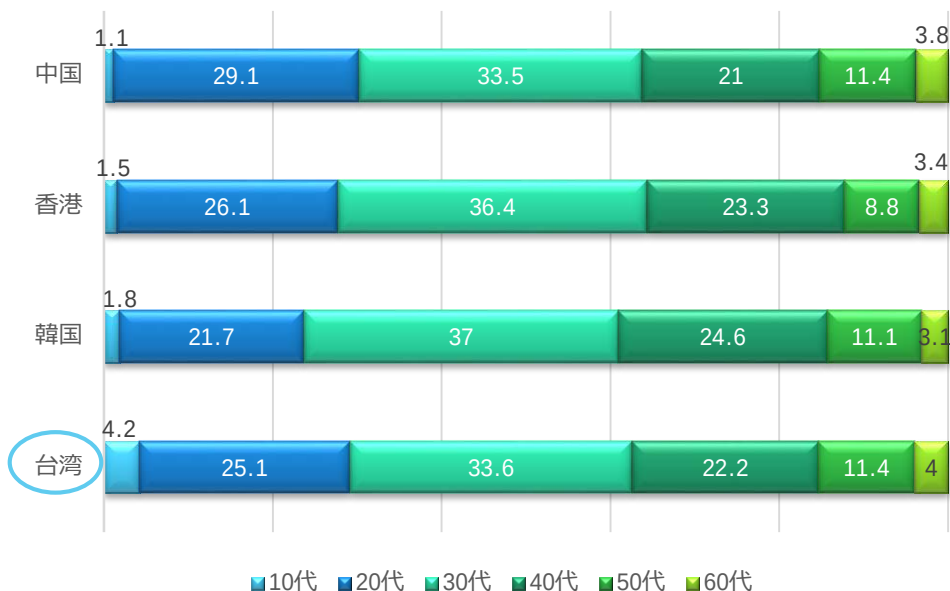
1

性別構成比



2

年代別構成比



旅行地の決定権をもつ女子
に美食・美容・健康を発信

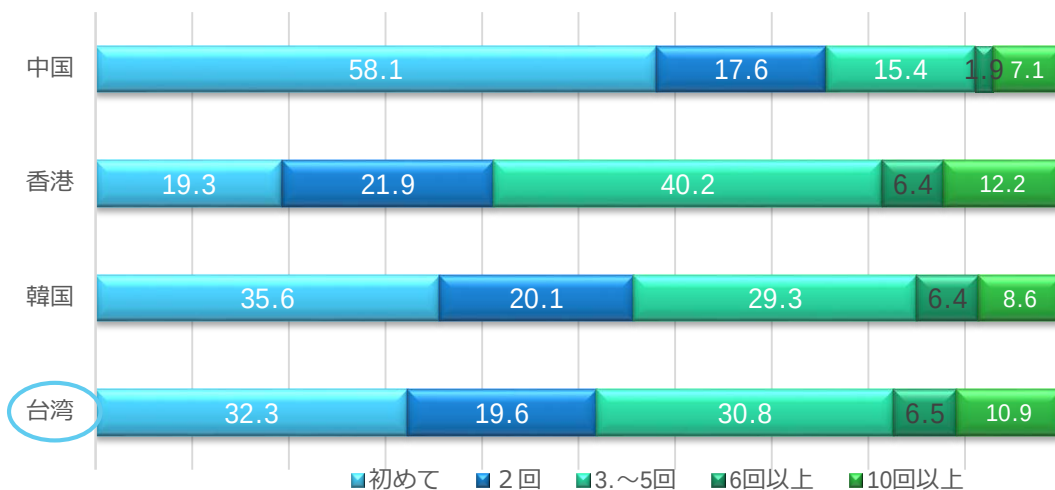
プロモーション
方向性

20代・30代・40代に合わせた
プロモーション展開
(女子旅・親子旅・体験アク
ティビティ) の強化

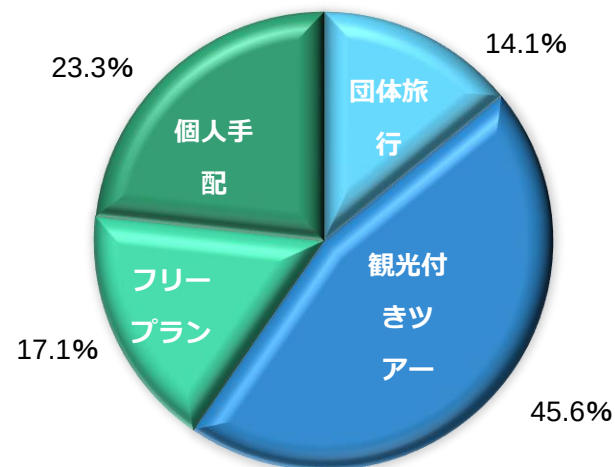
※出典：平成26年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について(台湾市場)

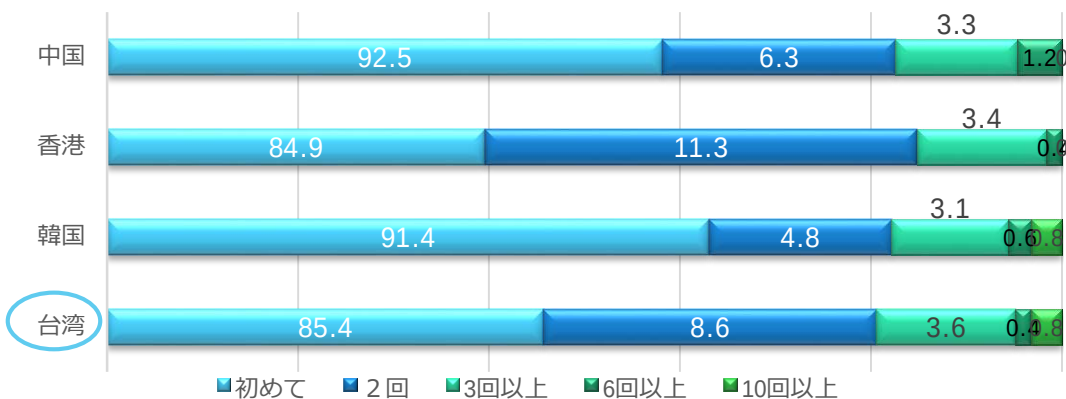
3 訪日旅行経験 (%)



4 旅行形態 (%)



5 訪沖旅行経験 (%)

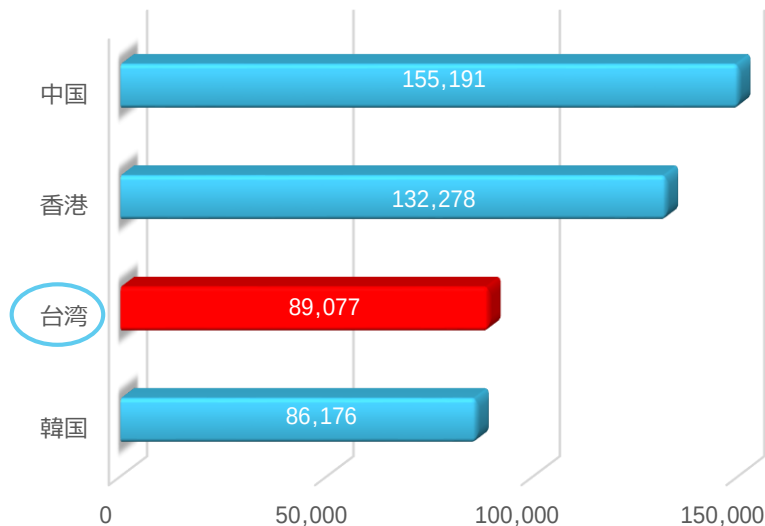


プロモーション方向性

「団体旅行」から
「個人旅行」プロ
モーションの展開

訪沖外国人観光客について(台湾市場)

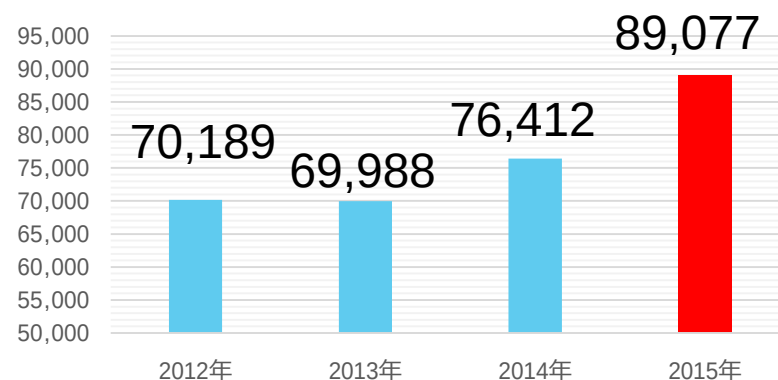
6 平成26年度 海外重点市場 県内平均消費額



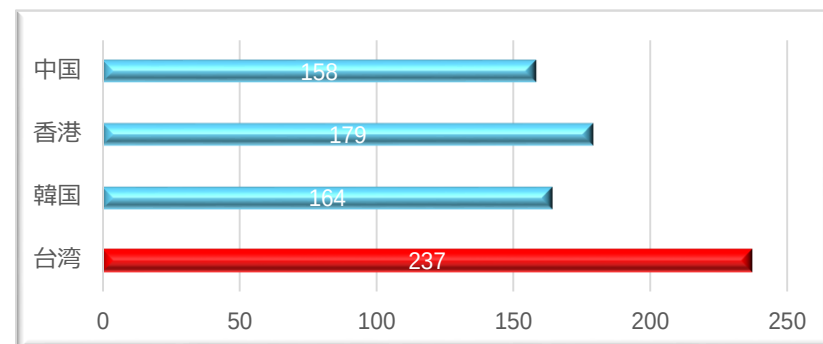
地域	平均消費額	平均宿泊数
韓国	86,176	2.87
台湾	89,077	3.43
香港	132,278	4.38
中国	155,191	3.7

7 県内平均消費額の推移(台湾)

台湾人観光客県内消費額(単位:円)



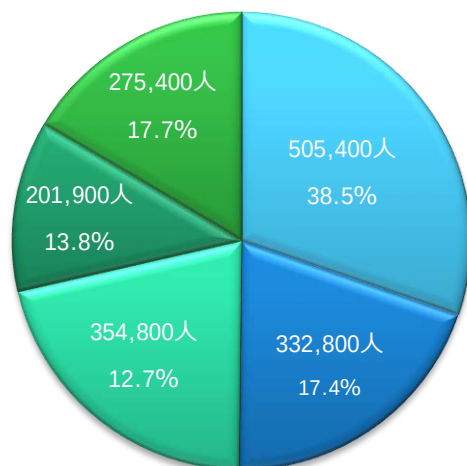
<観光収入額>



※出典:平成26年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について(台湾市場)

8 平成27年度 外国人観光客入域客数



■台湾 ■韓国 ■中国 ■香港 ■その他

合計：1,670,300人

プロモーション
方向性

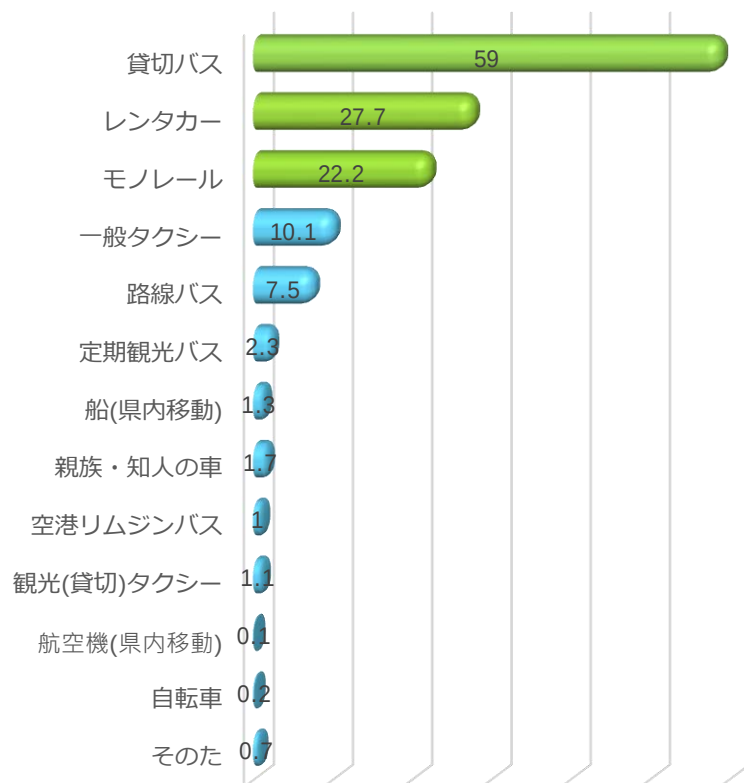
テーマ性の高いツアープロ
モーションを行う

プロモーション
方向性

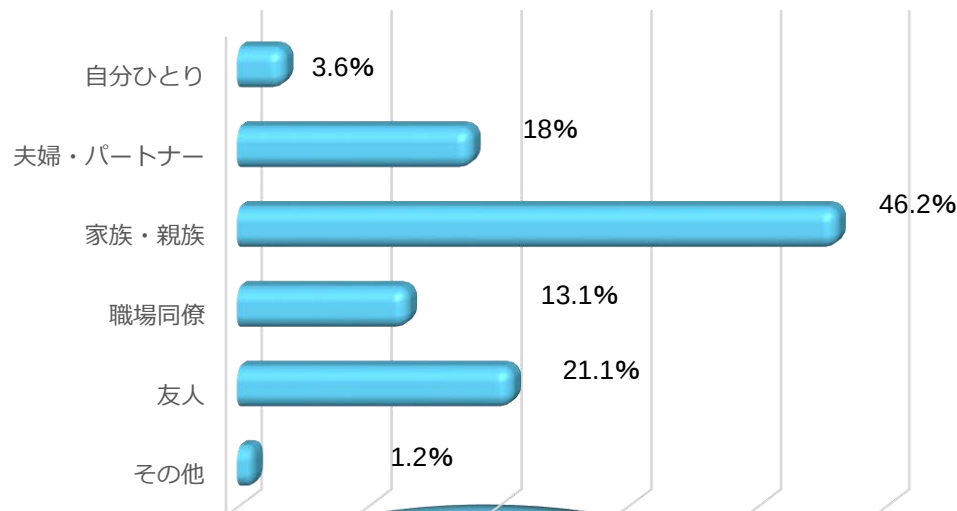
「量」から「質」へ高付加価値
旅行商品造成を促進する

訪沖外国人観光客について(台湾市場)

9 交通手段 (%)



10 同行者 (%)



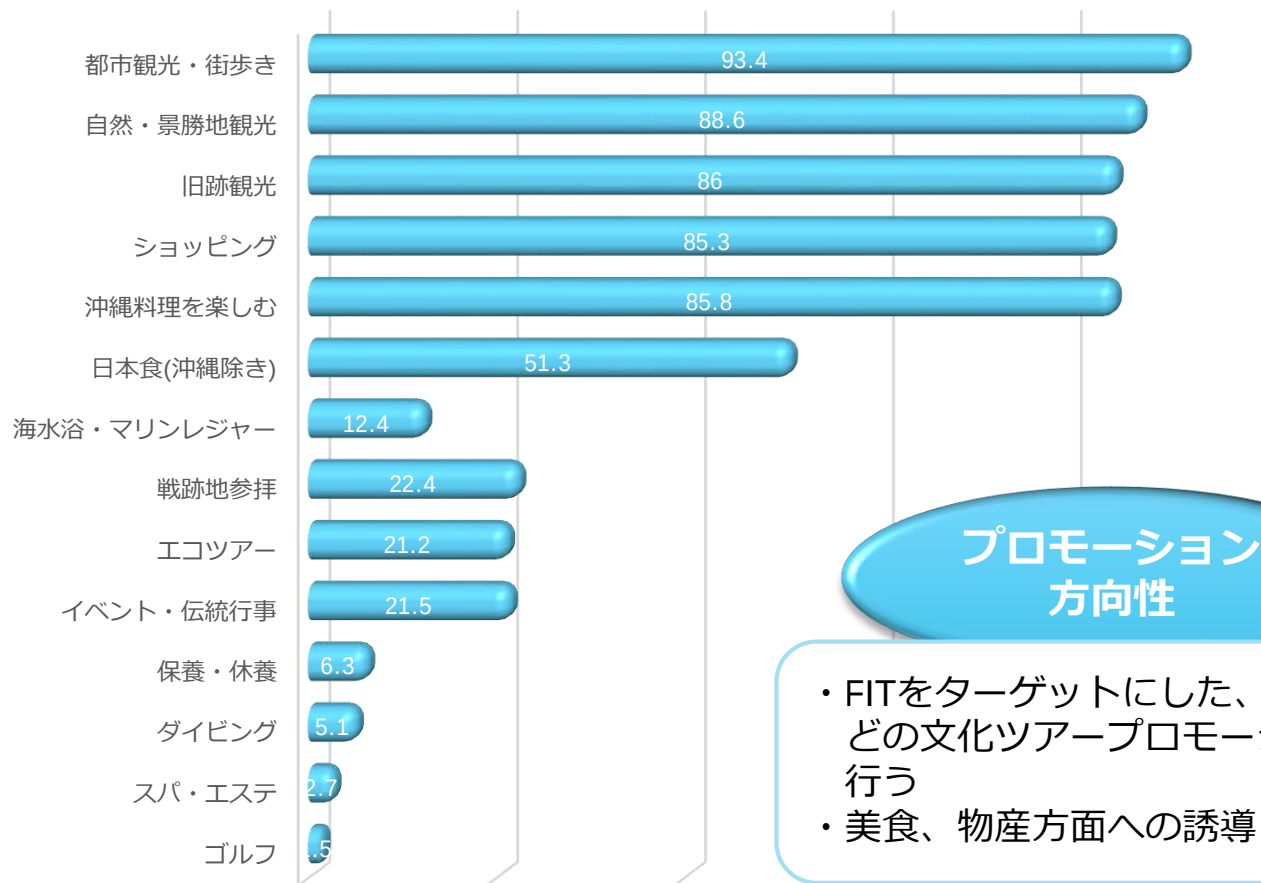
プロモーション 方向性

- ・ 貸切バスの稼働が高い時期には、FIT、SIT向けプロモーションを強化する
- ・ 特に台中や高雄など、台北に比べて自動車保有率の高いエリアに対しての、レンタカー利用促進プロモーション強化

訪沖外国人観光客について(台湾市場)

11

行った活動

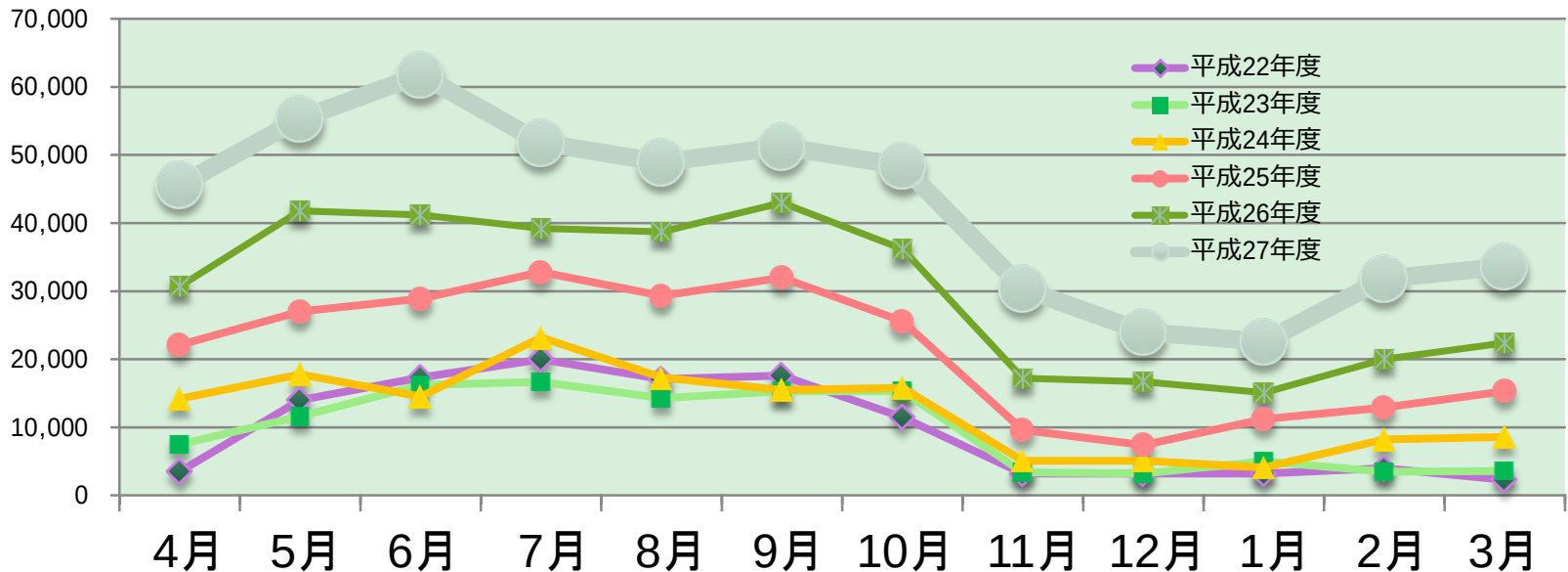


プロモーション 方向性

- ・FITをターゲットにした、街歩きなどの文化ツアープロモーションを行う
- ・美食、物産方面への誘導

※平成26年度外国人観光客実態調査報告書データを基に作成

月別入域観光客数の推移(H22～H27)



課題

**離島への誘導、
FIT比率拡大、冬季
の需要拡大**

- ・ マラソン、サイクリング、ウエディング等テーマを目的にした訪沖の強化
- ・ 離島への直行定期便誘致
- ・ 女子旅、親子旅、旬香周島キャンペーンの浸透強化

台湾人観光客旅行シーズン

2016年祝祭日

休日	日数	期間
元旦	3日	1/1-1/3
春節	9日	2/6-2/14
228平和 記念日	3日	2/27-2/29
兒童節 清明節	4日	4/2-4/5
端午節	4日	6/9-6/12
中秋節	4日	9/15-9-18
国慶節	3日	10/8-10/10

※出典：台湾貿易センターサイトを基に作成

旅行のピークとボトム

2つの山

- 国慶節
- 春節

2つの谷

- 国慶節後
- 春節後

※暦年のデータによるピークとボトム期間も同様

7月～8月

教育機関が休みとなるこの時期
は学生や親子による旅のシーズン

空路定期就航状況

就航都市	航空会社名	機材	提供座席数	便数	就航曜日		備考
台北（桃園） -那覇	中華航空（CI） （チャイナエアライン）	B747-400	375	週7便	デイリー	1980/2/22	◆ 需要に応じて機材変更
		B747-400	375	週7便	デイリー		
	復興航空（GE） （トランスアジア航空）	A321-131	182	週7便	デイリー	2012/9/2	
	Peach Aviation（MM）	A320-200	180	週7便	デイリー	2013/9/20	◆ 那覇空港貨物ターミナル利用
		A320-200	180	週7便	デイリー		
	長榮航空（BR） （エバー航空）	A330-300	309	週7便	デイリー	2014/6/17	◆4/15-10/29 使用機材A321-200（184）変更
		A321-200	184	週2便	金・日		◆5/10-10/29 デイリー運航へ変更
	タイガーエア台湾（IT）	A320-200	180	週5便	月・火・木・金・日	2015/6/29	◆ LCC航空会社ではあるが、国際線ターミナルビル利用
台中 -那覇	華信航空（AE） （マンダリン航空）	ERJ190	104	週2便	水・土	2012/6/30	
高雄 -那覇	中華航空（CI） （チャイナエアライン）	B737-800	158	週2便	水・土	2015/10/27	◆3/27-4/28 CI132/133便 ◆4/29-5/31 AE280/AE281便 ERJ-190(104席)日時変更なし ◆6/1～調整中 CI便予定
台北（桃園）-石垣	中華航空（CI） （チャイナエアライン）	B737-800	158	週2便	水・土	2014/8/2	◆ 2016年3月29日より運航再開

台北-那覇：週49便 / 台中-那覇：週2便 / 高雄-那覇：週2便 / 台北-石垣：週2便
計：週55便

※ H28.4.6 現在データ

平成27年度 空路実績

1 年間平均搭乗率：77.5%

2 年間座席提供数：542,814席

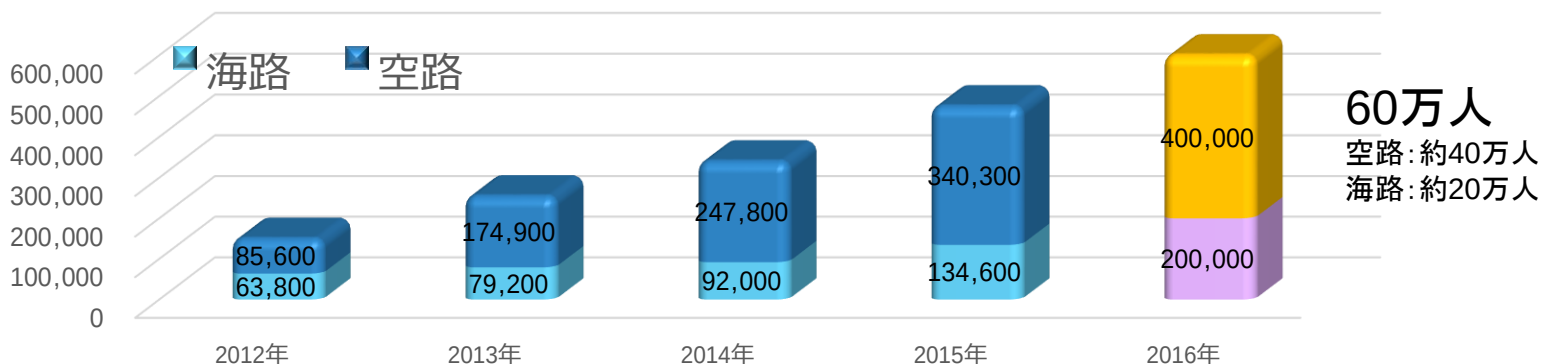
3 年間搭乗者数：420,850人

（H28.5.11 現在データ）

訪沖台湾人観光客の推移(空路海路別)

※出典：沖縄県発表入域観光客数データを基に作成

※「平成28年度ビジット沖縄計画」で
設定する数値を設定



目標
に向けて

定期便の搭乗率最大化

離島便の定期便定着化

再開便の定着・増便・機材大型
化

トランジット等入込ルート多元化

※目標値は平成27年度ビジットおきなわ計画参考値

平成28年度台湾人観光客 来沖観光客誘致目標数

H27

実績：505,400人

空路：400,000人

一般観光客

目標：392,000人

離島への誘導、
女子旅、体験
等のテーマを
意識した誘客

加えて文化や
歴史をテーマ
としたプロ
モーションも
展開する。

スポーツ関連

目標：7,000人

沖縄本島/離島
で実施される
スポーツイベ
ントへの誘客

- ・マラソン
- ・サイクリング
- ・ヨガ
- ・ダイビング

RW関連

目標：1,000人

目標成約数に
平均列席人数
をかけた数。
550組×18人
その他、
・プロポーズ
・アニバーサ
リー関連プロ
モーション強化
(アニバーサリー
チームとの連携)

H28

目標：60万人

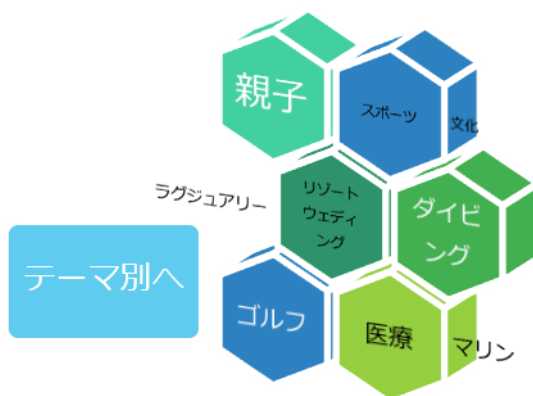
海路：200,000人

クルーズ利用

港湾都市高雄を中心に、
クルーズ船の利用も促
進。スタークルーズ社
とタイアップしたプロ
モーション活動の展開

平成28年度台湾市場プロモーションの方向性

1 各都市におけるプロモーションテーマの設定



- ・ 歴史文化関連
- ・ 女子旅
- ・ 高付加価値ツアー商品造成

2 旬香周島

離島・中北部
への誘客

台北はトレンドリーダー
とみなしブランディング化
を推進

ボトム期の底上げ

3 物産との連携

物産とあわせた
旅のPR

↑

美食

美容・コスメ

平成28年度 台湾市場 プロモーション計画

	旅行博等 出展系イベント	招聘	市場別 プロモーション	その他 キャンペーンなど
夏向け 4月～6月	・高雄旅行博 (KITF2016) ・台中国際旅行博 (ATTA2016)	・ダイビング ワークショップツアー	・新聞社タイアップ 離島プロモーション ・女子旅需要喚起 プロモーション	
秋向け 7月～9月			・新聞社タイアップ 離島プロモーション ・女子旅需要喚起 プロモーション	
冬向け 10月～12月	・台北国際旅行 (ITF2016)	・歴史文化FAMツアー	・新聞社タイアップ 離島プロモーション ・女子旅需要喚起 プロモーション	沖縄ナイト IN 台湾
春向け 1月～3月				